

# 「有田みかん」を食べて“感動”そして農家に

|          |              |                          |
|----------|--------------|--------------------------|
| 藪内 晃幸 さん | 1985年生まれ     | 受講研修：平成28年度就農支援センター社会人課程 |
|          | 就農年月 平成29年4月 | 就農前職業：車関係の設計開発           |
|          | 就農地 有田市      | 出身地：三重県→愛知県              |

## ●農業を始めようとしたきっかけ

妻の叔父の作るみかんを食べて“感動”。自分も作りたいと強く思い、長男が小学校へ上がるタイミングで和歌山への移住を決意。農業には生産から販売まで携われる魅力もあった。



## ●就農準備

### ・農地の確保

農地中間管理機構を通して借り受け

### ・住宅の確保

ローンを組んで新築  
(自分自身が逃げられないようするためにも)

### ・生活を支えた補助的収入

青年就農給付金(経営開始型)  
前職での蓄え

## ●新規就農を目指す方へのアドバイス

仕事に楽しみを感じられるのが農業です。ただし、気象に左右され、収入も不安定なところがあり、田舎暮らしへの‘あこがれ’だけでは農業はできません。地域とのコミュニケーションも重要です。色々な役もついて回りますが、それも経営の一部と考えましょう。これからの農家は他人任せではなく、自分で行動する農家でないとはいけません。やる気次第で農家の未来は明るいと思っています。

## ●今後の農業経営の目標

法人化も視野に入れ、面積拡大しながら収入を増やしていく。  
地域のみかん産業を引っ張っていける農業者になっていきたい。



| ■農業経営の経過 |                |                |
|----------|----------------|----------------|
|          | 就農1年目          | 現在(3年目)        |
| 作 目      | 温州みかん0.7ha     | 温州みかん1ha、レモン2a |
| 農地面積     | 0.7ha          | 1.02ha         |
| 労働力      | 本人、妻           | 本人、妻           |
| 販売先      | 所属する出荷組合から市場等へ | 所属する出荷組合から市場等へ |